

IX 附属教育研究機関

1 茨城大学教育学部附属学校の設置目的

- (1) 本学の教員、学部学生及び大学院生による幼児教育、普通初等中等教育及び知的障害教育の理論的、実際的研究に協力する。
- (2) 学部の方針に基づき、本学学部学生の教育実習や授業研究等、教員養成に必要な実地教育を行うとともに、学部及び大学院における教職に関する教育に寄与する。
- (3) 茨城県内外の教育機関に対して広く研究成果を還元するとともに、県及び県内自治体との人事交流協定に基づいて教員の研修を行い地域の教育力向上に寄与する。
- (4) 附属学校は、学校教育法の定めるところにより、上記の目的に沿った保育あるいは教育を行う。

(平成 20 年 10 月 15 日教授会で審議・決定)

2 茨城大学教育学部附属学校のアドミッション・ポリシー

茨城大学の附属学校には、教育学部の教育研究に協力しその成果を公開することによって、広く教育力の向上に寄与するとともに、教員養成のために教育実習等を行う使命があります。そのため、附属学校の幼児・児童・生徒に対しては、それらを達成できるような環境で保育あるいは教育が行われます。

2-1 幼稚園

入園にあたっては、自分の気持ちを素直に表現しながら、周囲に興味・関心をもって遊びを楽しむことができる幼児。

在園中は、自分を取り巻くさまざまな物や事柄に心を動かし、親しみと意欲をもってかかわるとともに、集団生活に積極的に参加しながら、自ら判断し行動しようとする幼児。

修了に際しては、豊かな感性と表現力をもつとともに、共通の目的をなしとげるために力を発揮し、自信をもちつつ他者を思いやることのできる幼児。

2-2 小学校

入学にあたっては、幼児教育を通じて培われた、努力・礼儀・思いやり・継続・感謝の気持ちを素地としてもち、新しい知識を積極的に学んで行こうとする児童。

在学中は、自分とともに他者を大切にすることをもち、自分の夢や希望の実現に向けて、自分の持ち味を発揮しながら主体的に学習し、知恵を培って行く児童。

卒業に際しては、豊かな心と基礎的な学力、健やかな身体を併せもち、良好な人間関係を築きながら生きて行こうとする児童。

2-3 中学校

入学にあたっては、基礎的な学力を身に付け、自立的で集団や社会の規律を守り、誰とも

仲良くできる生徒。豊かな教養と強い精神力、体力を身に付けようとする生徒。

在学中は、自分とともに他者を大切に共生の心と、探求心やチャレンジ精神をもって自ら課題を設け、その解決に向けて粘り強く学び続ける生徒。

卒業に際しては、確かな学力と豊かな教養を身に付け、よりよい社会作りに積極的に参画・貢献しようとする意欲と力を兼ね備えた、心身ともに健康でたくましい生徒。

2-4 特別支援学校

入学にあたっては、身辺自立を目指し、必要なことを自分でやろうとする気持ちや、周りへの興味・関心をもとうとする児童。

在学中は、健康で明るく、素直な心で生活し、集団の中で友だちと協力する楽しさや、ともに学ぶ喜びを味わうことのできる児童生徒。

卒業に際しては、心身の健康を保つとともに、他者との積極的なかかわりや学ぶ意欲をもち、何事も忍耐強くやり通して自立的に社会参加をして行ける生徒。

(平成 20 年 10 月 15 日教育学部教授会で審議・決定)

3 附属幼稚園

3-1 沿革と理念

3-1-1 沿革

昭和 42 年 6 月	茨城大学教育学部附属幼稚園(水戸市三の丸)として開園(2年保育1学級)。
昭和 43 年 4 月	2 学級に増設。
昭和 48 年 4 月	3 年保育実施許可、3 学級に増設。
昭和 49 年 4 月	4 学級に増設。
昭和 50 年 4 月	2 年保育を新設し、全 5 学級となる。
平成 16 年 4 月	大学法人化により国立大学法人茨城大学教育学部附属幼稚園と改称。

3-1-2 理念

(1) 本園の任務

本園は、教員養成を目的とする茨城大学教育学部の附属幼稚園として、大学の研究と学生の教育実地研究の場として、昭和 42 年 6 月に創設された。したがって大学と共同又は自主的に幼児の教育研究を行い、それを実証し、その結果をもって地域の幼児教育の向上に寄与する使命をもつものである。

(2) 本園の教育目標

豊かな人間理解を根底とする社会性の芽生えを重視し、基本的な生活習慣の形成を図るとともに、自主性・創造性を養い、明るく健全な心身の発達を助長し望ましい人格の形成を目標とするものである。

(3) 本園の幼児像

自分の気持ちを素直に表現する子ども

自分の思いを実現して行く子ども

いろいろなことに興味や関心をもち挑んでいく子ども

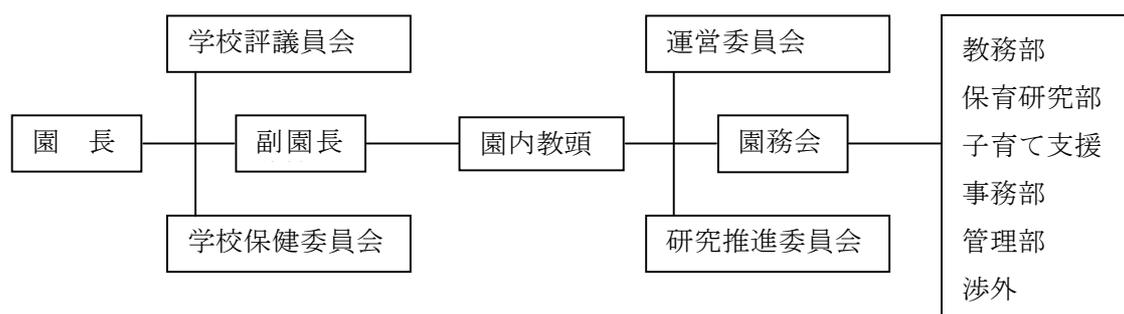
相手の気持ちがわかる子ども

みんなの中の自分を意識し、調和していこうとする子ども

3-1-3 年度の重点施策

- (1) 豊かな育ちを支える保育の充実を図る。
- (2) 信頼される安心・安全な幼稚園経営に努める。
- (3) 子育て支援の充実を図り、保護者との連携を深める。
- (4) 大学や附属学校との連携を密にする。
- (5) 地域及び他教育機関へ貢献する。

3-2 教育研究運営組織



3-3 教育研究のための人的体制

3-3-1 教職員配置状況

(1) 教職員内訳

園長 1 名、副園長 1 名

教員

教諭等 5 名（園内教頭 1 名を含む）、養護教諭 1 名、非常勤講師 3 名

事務員

係長 1 名、事務員 1 名

3-3-2 年齢構成と勤続年数

職名	性別			年齢構成						勤続年数					
	男	女	計	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-60	3年未満	3-5年	6-9年	10-14年	15年以上
園長		1	1						1		1				
副園長		1	1						1		1				
教諭等		5	5			2	1	1	1	1	4	1	1		
養護		1	1			1					1				
計		8	8	0	0	3	1	1	3	1	7	1	1		

平均年齢 46.3 歳

3-4 園児の受入れ

3-4-1 入園者選考

2 年保育

募集幼児数	入園志願者数			受験者数			合格者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
22	17	9	26	17	9	26	12	5	17

3 年保育

募集幼児数	入園志願者数			受験者数			合格者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
30	19	21	40	19	21	40	10	14	24

(3) 在籍園児数

学齢	3 歳児	4 歳児		5 歳児		計
	りす	うさぎ	こあら	ぺんぎん	きりん	
男	15	11	11	15	14	66
女	15	13	12	10	10	60
計	30	24	23	25	24	126

3-5 卒園後の進路

- ・附属小学校への連絡進学 47 名
- ・他の小学校進学 2 名
- ・計 49 名

3-6 学部との協力

3-6-1 教育実習生受入

- ・幼児教育実地研究Ⅰ 3年次生 4名
- ・幼児教育実地研究Ⅱ 4年次生 7名

3-6-2 学部授業の担当（分担）

- ・「保育内容研究(健康)」
- ・「保育内容研究(人間関係)」
- ・「保育内容研究(環境)」
- ・「保育内容研究(言葉)」
- ・「養護実践研究Ⅱ」
- ・「教職実践演習」（幼稚園免許対応クラス）

3-7 施設その他

3-7-1 面積等

- ・園舎面積 887.37 m²
- ・保育室 5、プレイルーム 1、教育実習生控室 1、会議室 1、厨房室 1、職員室 1 他

3-7-2 本年度の改善

- ・保育室天井明り取りのパッキン交換及び天井・壁紙の張替え、保育室内の鍵の取付け
- ・職員室上部安全柵の設置

3-8 地域貢献

3-8-1 教職員の社会活動

- ・各種団体からの依頼への協力(研修会の講師等)

3-8-2 園児の社会活動

- ・水戸市マナーアップキャンペーン

3-8-3 研修協力

- ・現職教員研修 (希望する幼、小、保育士)
- ・小・中・高等学校の体験学習受入
- ・大学の授業協力 (保育公開)

3-8-4 公開講座

- ・コミュニティー広場 (子育て支援活動) 年間 4 回
- ・子育て講座 年間 3 回

3-9 研究活動と研究体制の整備

3-9-1 園における研究活動

- ・研究会 (11 月 12 日) 保育公開、研究発表、講演
- ・園内研究日 (年 5 回)

3-9-2 研究成果

『子どもと共に遊びをつくる一人とのかかわりを通してー』研究紀要 29

3-10 点検評価及び改善のためのシステム

3-10-1 教育改善への組織的な取り組み

- ・保育カリキュラムの見直し、保育内容の検討

3-10-2 外部評価

- ・学校評議員会 (年 2 回)
- ・保護者へのアンケート調査

4 附属小学校

4-1 沿革と理念

4-1-1 沿革

- 明治 10 年 10 月 26 日 水戸市竜岡町に開校する。(茨城県師範学校附属小学校)
- 明治 21 年 5 月 9 日 水戸市二の丸 1 番地に移転する。
- 明治 38 年 4 月 1 日 水戸市桜町に開校する。(女子師範学校)
- 昭和 16 年 4 月 1 日 茨城県師範学校附属国民学校と改称する。
- 昭和 18 年 3 月 1 日 茨城師範学校男子部附属国民学校、茨城師範学校女子部附属国民学校となる。
- 昭和 22 年 4 月 1 日 茨城師範学校男子部、女子部に中学校を設置し、附属小中学校となる。
- 昭和 24 年 5 月 31 日 茨城大学が設置される。
- 昭和 24 年 9 月 3 日 茨城大学茨城師範学校附属水城小中学校、同愛宕小中学校と改称する。
- 昭和 26 年 4 月 1 日 茨城大学教育学部附属水城小中学校、同愛宕小中学校と改称する。
- 昭和 33 年 4 月 1 日 茨城大学教育学部附属水城小中学校、同愛宕小中学校を統合し、茨城大学教育学部附属小学校として現在地に発足する。
- 昭和 39 年 9 月 5 日 特殊学級 2 学級を設置
- 昭和 43 年 3 月 8 日 校歌、校旗制定。
- 昭和 52 年 4 月 1 日 茨城大学教育学部附属養護学校の開設にともない、特殊学級が移行

される。

平成 16 年 4 月 1 日 国立大学法人茨城大学教育学部附属小学校と改称する。

平成 19 年 10 月 13 日 附属小学校統合 50 周年記念行事実施。

平成 23 年 9 月 30 日 東日本大震災により被災した中高学年校舎の補修工事が完了。

4-1-2 理念

(1) 教育目標

「児童のもつそれぞれの個性や能力を実現させながら、自立の精神を養う」ことをめざして、本校の教育目標を次のように設定する。

- 1) 価値観や生活様式の変貌する社会状況の中で、常に正しい判断力をもった思慮深い行動ができ、心豊かで健康な子どもを育成する。
- 2) 進展する社会に対応し、新しい文化の創造に必要な基礎学力・体力を身につけた子どもを育成する。

(2) 望ましい子ども像

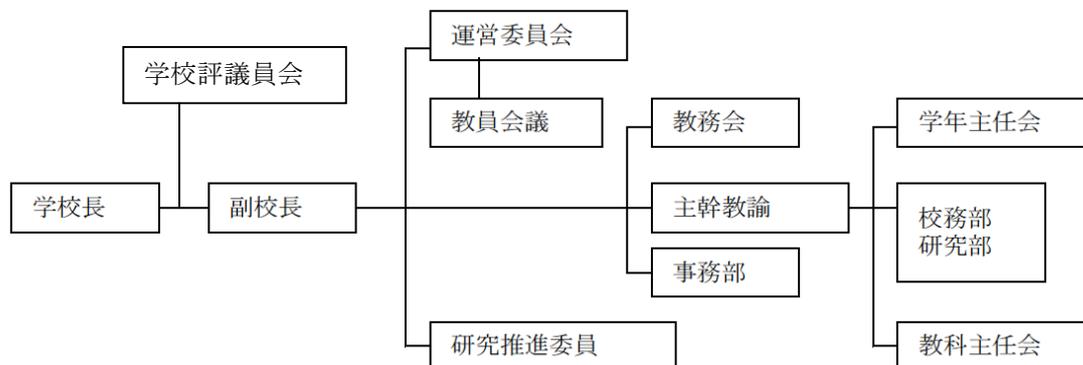
「個」の確立と「はらから」の精神を両立した教育理念に基づき、本校の望ましい子ども像を次の 5 点と設定し、調和的な育成を図る。

- 1) 本気で学びあえる子ども (努力)
- 2) 礼儀正しくふるまえる子ども (礼節)
- 3) 仲よく励まし合える子ども (思いやり)
- 4) 進んで体を鍛えていく子ども (継続)
- 5) 学校や郷土を愛せる子ども (感謝)

4-1-3 重点施策

- (1) 基本的な生活習慣と基礎学力・体力を身につけさせる。
- (2) 学年・学級経営の研究実践に努める。
- (3) 教育研究の充実をめざす。
- (4) 家庭・地域との連携を密にする。
- (5) 四附属及び各教育機関の連携を深め、教育活動を高める。
- (6) 施設・設備の充実と活用を図る。

4-2 教育研究運営組織



4-3 教育研究のための人的体制

4-3-1 教職員配置状況

(1) 教職員内訳

学校長 1 名、副校長 1 名

教員

主幹教諭(校内教頭) 1 名、教諭等 23 名

養護教諭 1 名、栄養教諭 1 名、非常勤講師 2 名、ALT 1 名

職員

係長 1 名、調理員 5 名

(2) 免許教科別構成

職名	中学校											小学校	
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語	計		
担当免許	副校長												1
	教諭等												26
	計												27
その他免許	校長												
	副校長				1								1
	教諭等	5	3	3	4	4	2	3		3		27	
	計	5	3	3	5	4	2	3		3		28	

4-3-2 年齢構成と勤続年数

職名	性別			年齢構成						勤続年数					
	男	女	計	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-以上	3年未満	3-5年	6-9年	10-14年	15年以上
校長	1		1						1		1				
副校長		1	1						1		1				
教諭等	14	11	25	5	5	8	7				10	8	5	2	
養護		1	1		1						1				
計	15	13	28	5	6	8	7		2		13	8	5	2	

平均年齢 男 40.9 歳 女 42.7 歳 計 41.8 歳

4-4 児童の受入れ

(1) 受験者数

内訳	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
一般男子	105	46	46	22
一般女子		50	50	32
幼稚園男子		30	30	30
幼稚園女子		20	20	20
合計	105	146	146	104

補欠合格者 ... なし

(2) 在籍者数

学年	組数	男	女	計
1年	3	51	52	103
2年	3	47	51	98
3年	3	57	54	111
3・4年複式	1	8	8	16
4年	3	57	51	108
5年	3	58	56	114
6年	3	54	58	112
計	19	332	330	662

4-5 卒業後の進路

- ・附属中学校 105 名 (89.7%)
- ・公立中学校 3 名 (2.6%)
- ・私立中学校 9 名 (7.7%)
- ・合計 117 名 (100%)

4-6 学部との協力

4-6-1 教育実習生受入

- ・初等教育実践研究Ⅰ I 期 6 月 10 日～ 6 月 25 日 3 年次生 72 名
II 期 9 月 4 日～ 9 月 20 日 3 年次生 65 名

4-6-2 学部授業の担当

- ・「養護実地研究入門」
- ・「生活科教育法研究」
- ・「初等社会科教育法研究」
- ・「算数科教育法特講Ⅱ」
- ・「音楽科教育法研究Ⅱ」
- ・「図画工作科内容研究」
- ・「家庭科教育法演習Ⅰ」

4-7 施設その他

4-7-1 面積等

	m ²		室数	m ²
敷地	50,599	普通教室	19	1,368
運動場	14,351	特別教室	11	1,220
体育館	882	保健室	1	52
プール	461	用務員室		
		その他		3,852
		計		6,492

4-8 地域貢献

4-8-1 公開講座等

なし

5 附属中学校

5-1 沿革と理念

5-1-1 沿革

明治 10 年 10 月 26 日 水戸市竜岡町に開校する。(男子師範学校)

明治 21 年 5 月 9 日 水戸市二の丸 1 番地に移転する。

明治 38 年 4 月 1 日	水戸市桜町に開校する。(女子師範学校)
昭和 18 年 3 月 1 日	茨城師範学校男子部附属国民学校、茨城師範学校女子部附属国民学校となる
昭和 22 年 4 月 1 日	茨城師範学校男子部、女子部に中学校を設置し、附属小中学校となる
昭和 24 年 5 月 31 日	茨城大学が設置される。
昭和 24 年 9 月 3 日	茨城大学茨城師範学校附属水城小中学校、同愛宕小中学校と改称する。
昭和 26 年 4 月 1 日	茨城大学教育学部附属水城小中学校、同愛宕小中学校と改称する。
昭和 33 年 4 月 1 日	茨城大学教育学部附属水城小中学校、同愛宕小中学校を統合し、茨城大学教育学部附属中学校として現在地に発足する。
昭和 34 年 4 月 1 日	1 学級が増設され 12 学級編成となる。
昭和 41 年 4 月 1 日	特殊学級 1 学級を開設し 13 学級となる。
昭和 42 年 4 月 1 日	特殊学級 1 学級を増設し 14 学級となる。
昭和 43 年 3 月 15 日	校歌を制定する。
昭和 43 年 4 月 1 日	特殊学級 1 学級増設、15 学級となる。
昭和 52 年 4 月 1 日	茨城大学教育学部附属養護学校の開設にともない、特殊学級が移行される。
平成 16 年 4 月 1 日	国立大学法人化にともない、国立大学法人茨城大学教育学部附属中学校と改称する。
平成 19 年 4 月 1 日	統合 50 周年式典実施ならびに記念誌発行
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災による校舎被害・校舎改修工事
平成 25 年 5 月 31 日	旧六号館改修工事，ものづくり棟として新設

5-1-2 理念

(1) めざす学校像

優れた教員の養成を行う学校

内外に開かれた学校

外部及び附属校園と連携ができる学校

教員の資質・能力の向上がはかれる学校

教育ニーズに対応した学習環境が整った学校

快適な職場環境づくりがなされている学校

(2) めざす生徒像

より高い価値をめざし、たくましく実践し、ともに向上する生徒

(3) めざす教師像 教職に対する高い使命感をもち、信頼される力量ある教師

子どもを理解する力を備えた教師

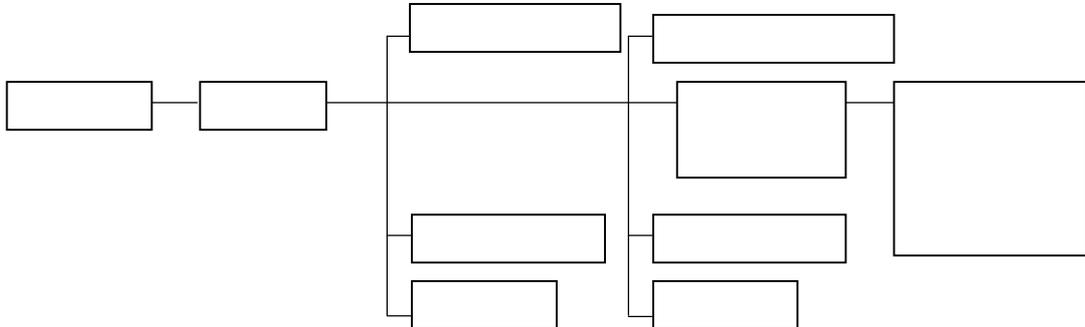
新たな課題に取り組める力をもった教師

高い専門性と教育技術を備えた教師

平成 25 年度茨城大学教育学部・大学院教育研究科年報

社会性のある対人関係能力の優れた教師

5-2 教育研究運営組織



5-3 教育研究のための人的体制

5-3-1 教職員配置状況

(1) 教職員内訳

校長 1 名、副校長 1 名

教員

教諭 20 名、養護教諭 1 名、

英語指導助手 1 名、非常勤講師 3 名(国語 1、社会 1、保健体育 2、養護 1)

職員

係長 1 名、事務補佐員 2 名

(2) 免許教科別構成

職名	中学校											小学校	
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技術	家庭	英語	計		
担当免許	校長					1						1	
	副校長				1							1	
	教諭	2	2	4	3	1	1	2	1	1	3	20	
	計	2	2	4	4	1	2	2	1	1	3	22	
その他免許	副校長		1									1	1
	教諭等								1			1	19
	計		1						1			2	20

5-3-2 年齢構成と勤続年数

職名	性別			年齢構成							勤続年数				
	男	女	計	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-60	3年未満	3-5年	6-9年	10-14年	15年以上
校長	1		1							1		1			
副校長	1		1						1		1				
教諭	16	4	20		3	8	2	5	2		7	7	5	1	
養護		1	1					1				1			
計	18	5	23		3	8	2	6	3	1	8	9	5	1	

平均年齢 男 40.0 女 40.1 歳 計 40.0 歳

5-4 教育内容と方法

年間授業時間

	必修科目									道徳	特別活動	総合的な学習の時間	年間授業時間数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語				
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

1 授業時間=50 分

5-5 生徒の受入

(1) 受験人数

	願書受付人数			受験者数			合格者数		
	受験者数	内訳		受験者数	内訳		合格者数	内訳	
		男	女		男	女		男	女
附属小から	107	55	52	105	54	51	105	54	51
公立小から	152	89	63	145	86	59	55	28	27
計	259	144	115	250	140	110	160	82	78

(2) 入学者内訳

	男	女	計
附属幼稚園	29	25	54
附属小学校	25	26	51
公立小学校	28	27	55

(3) 学級数及び在籍生徒数 (H25.5)

学年	組数	男	女	計
1 年	4	82	78	160
2 年	4	78	79	157
3 年	4	73	84	157
計	12	233	241	474

5-6 卒業後の進路

- ・公立高校 89 人 (57%)
- ・私立高校 68 人 (43%)
- ・他(留学等) 0 人 (0%)
- ・合計 157 人 (100%)

5-7 学部との協力

5-7-1 教育実習生の受入

- ・前期 5 月 29 日～6 月 14 日 教育学部生 41 名、委託生 2 名
- ・後期 9 月 2 日～9 月 18 日 教育学部生 42 名、委託生 4 名
- 計 教育学部生 83 名、委託生 6 名

5-8 施設その他

	m ²		室数	m ²
敷地	34,787	普通教室	12	81
運動場	18,300	特別教室	17	1,535
体育館	1,415	保健室	1	49
プール	975	用務員室	1	34
		その他		14,053
		計		16,487

5-9 地域貢献

5-9-1 公開講座等

- ・公開授業研究会

「学びを織りなす生徒の育成をめざして ～学びを織りなす力を高める授業づくり～」

平成 25 年 11 月 30 日

6 附属特別支援学校

6-1 沿革と理念

6-1-1 沿革

昭和 52 年 4 月 1 日	附属小学校特殊学級(3 学級)及び附属中学校特殊学級(3 学級)を母体として茨城大学教育学部附属養護学校を創設
昭和 53 年 4 月 1 日	高等部を新設
昭和 54 年 2 月	新校舎落成
昭和 54 年 4 月 1 日	高等部学年進行にともない 1 学級増設
昭和 54 年 5 月 15 日	新校舎竣工・開校記念式典挙行
昭和 55 年 4 月 1 日	高等部学年進行にともない 1 学級増設
平成 19 年 4 月 1 日	茨城大学教育学部附属特別支援学校に校名変更

6-1-2 理念

(1) 本校の任務

- ・各部間の一貫した調和と統一のとれた教育課程の中で、児童生徒一人一人の能力と適性に応じた効果的で充実した教育がなされるようにする。
- ・児童生徒の可能性を引き出すための教育内容や方法について、大学及び附属学校園との連携の下、理念と実践についての研究・実証を行う。
- ・教育実践及び研究をとおして地域の特別支援教育の推進に協力する。
- ・本学学生の教育実習を行う。

(2) 教育目標

一人一人の能力・特性に応じた教育を行い、その可能性を開発・伸長し、豊かな心と健康な身体を育て、社会生活に適応できる、明るく、強く、たくましく生きぬく力をもった人間を育成する。

(3) 目指す子ども像

- ・からだのじょうぶな明るい子
- ・自分のことは自分でする子
- ・すなおな心で仲よくする子
- ・きまりを守りれいぎ正しい子
- ・しんぼう強くやりとおす子

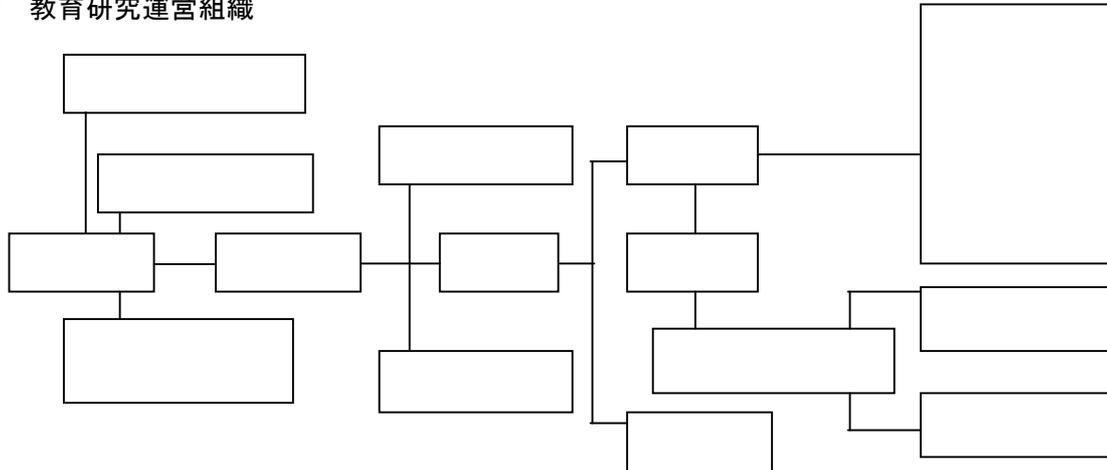
6-1-3 本年度の重点目標

- ・児童生徒一人一人の発達段階や教育的ニーズに応じた指導の一層の充実を図る。
- ・教育実践研究をとおして、特別支援教育の専門性の向上及び指導力向上に努める。
- ・児童生徒が健康で安心して学べる教育環境の整備と安全管理の徹底を図る。

平 成 25 年 度 茨 城 大 学 教 育 学 部 ・ 大 学 院 教 育 研 究 事 務 部

- ・ 大 学 や 地 域 及 び 関 係 機 関 と の 連 携 の 深 め ， 特 別 支 援 教 育 の 振 興 と 現 職 教 育 の 推 進 に 努 め る 。
- ・ 附 属 学 校 と し て ， 充 実 し た 教 育 実 習 ・ 介 護 等 体 験 を 実 施 し ， 教 員 と し て の 資 質 を 高 め る 指 導 を 行 う 。

6-2 教 育 研 究 運 営 組 織



6-3 教 育 研 究 の た め の 人 的 体 制

6-3-1 教 職 員 配 置 状 況

(1) 教 職 員 内 訳

校 長 1 名 、 副 校 長 1 名

教 員

校 内 教 頭 1 名 、 教 諭 23 名 、 講 師 3 名 、 栄 養 教 諭 1 名 、 養 護 教 諭 講 師 1 名

職 員

係 長 1 名 、 運 転 手 1 名 、 栄 養 士 1 名 、 技 能 補 佐 員 2 名 、 臨 時 用 務 員 2 名 、

事 務 補 佐 員 1 名

(2) 免 許 教 科 別 構 成

職 名	特 別 支 援 学 校												小 学 校	
	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体	技 術	家 庭	英 語	特 支	計		
担 当 免 許	校 長													
	副 校 長											1	1	
	教 諭											22	22	
	講 師													
	計											22	22	
そ の 他 免 許	校 長	1											1	
	副 校 長												1	1
	教 諭	6	6			2		1		2	5		24	22
	講 師		1					2					1	1
	計	7	7	0	0	2	0	3	0	2	5		28	24

6-3-2 年齢構成

職名	性別			年齢構成								勤続年数					
	男	女	計	25未満	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-60	60以上	3年未満	3-5年	6-9年	10-14年	15年以上
校長	1		1									1	1				
副校長		1	1						1				1				
教諭	9	17	26			8	7	8	1	3			8	11	7		
講師					1								4				
養護		1	1											1			
栄養教諭		1	1				1										
計	10	20	30		1	8	6	9	4	2	1		14	12	7	0	0

平均年齢 男 37.1 歳 女 39.7 歳 計 38.1 歳

6-4 教育内容と方法

1 週あたり授業時間

小学部 1 授業時間=40 分

指導の形態	領域・教科を合わせた指導			教科別の指導			領域別の指導		週授業時間数
	形態名	日常生活の指導	生活単元学習	課題学習	音楽	体育	図画工作	自立活動	
1～3 学年	16.25	6.0	5.0	2.0	2.0		0.5		31.75
4～6 学年	16.25	6.0	5.0	2.0	3.0	2.0	0.5	1.5	36.25

中学部 1 授業時間=40 分

指導の形態	領域・教科を合わせた指導				総合的な学習の時間	教科別の指導			領域別の指導		週授業時間数
	形態名	日常生活の指導	生活単元学習	作業学習		課題学習	音楽	美術	保健体育	自立活動	
1～3 学年	10	4.5	2.5	6.5	1.5	2.0	1.0	3.5	0.5	5.5	37.5

高等部 1 授業時間=45 分

指導の形態	領域・教科を合わせた指導				総合的な学習の時間	教科別の指導					領域別の指導		週授業時間数	
	日常生活の指導	生活単元学習	作業学習	課題学習		音楽	美術	保健体育	家庭	選択(音・美・書)	自立活動	特別活動		
形態名														
1～3 学年	4	1.5	8.5	4.0	1.0	1.0	2.0	3.0	0.5		0.5	6.0	32.0	

6-5 児童生徒の受入れ

在籍生徒数

学年	小学部							中学部				高等部				合計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
男	1	3	3	1	2	2	12	5	3	4	12	4	6	6	16	40
女	2	0	0	1	1	1	5	1	3	2	6	3	2	1	6	17
計	3	3	3	2	3	3	17	6	6	6	18	7	8	7	22	57

6-6 卒業後の進路

(1) 中学部

進学 特別支援学校高等部 6 名

施設 0 名

(2) 高等部

就職 3 名

施設 4 名

進学 0 名

6-7 学部との協力

(1) 教育実習

特支基本	5 月 9 日～5 月 29 日	教育学部教員養成課程	
		特別支援教育コース 4 年次生	23 名
特別専攻科	9 月 6 日～9 月 20 日	特別専攻科生	19 名
	10 月 11 日～10 月 25 日	特別専攻科生	8 名
特支副専	10 月 15 日～10 月 26 日	教育学部 4 年次生	4 名

(2) 体験学習(実習事前・事後) 毎週木曜日 約 50 名×4 回

(3) 介護等体験 前期 4 回 計 40 名 後期 4 回 計 40 名

6-8 施設その他

	m ²		室数	m ²
敷地	19,594	普通教室	10	290
運動場	6,600	特別教室	10	542
体育館	459	保健室	1	33
プール	858	用務員室	1	10
実習地	1,200	その他		2,742
		計	28	3,617

6-9 地域貢献

	名 称	開催日	参加者数
1	公開授業 オープンスクール	7月23日	195名
2	公開講座：検査法研修講座	8月5日	29名
3	公開講座：自立活動講座	8月7～8日	30名
4	公開講座：教育相談講座	8月22～23日	53名
5	公開研究会「感じる・考える・伝え合う 授業づくり」	12月10日	88名
6	水戸教育事務所管内特別支援教育理解促進研修会 (附属特別支援学校・水戸教育事務所 共催)	1月21日	60名